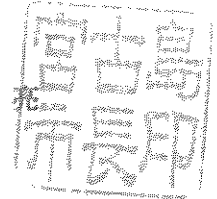


宮建道発32号
平成19年5月8日

国土交通省道路局長 殿

宮古島市長
伊志嶺



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

平成19年4月2日付国道企第114号で依頼のあったみだしの件について別紙の
とおりに提出致します。

今後の道路政策や道路の整備・管理についての意見

1) 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

- ・本市の道路は、幅員が狭い上に、歩道の整備率が低い現状にある。交通安全確保、市民生活の利便性の向上及び障害者など誰にでも優しい道づくりを基本に、幹線道路、通学路の幅員拡張、歩道の整備、交通安全施設等の整備を図る。

2) 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

- ・既存道路の徹底的な活用、改修。
- ・計画段階から住民参加を図り、住民との合意の基でスピーディな道路整備を行う。

3) その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

合併市町村の中心部と旧町村の連絡や、公共公益施設等の連絡を促進する道路整備の重点的支援。

- ・見通しの悪い交差点の改良や外灯を増やしてほしい。
- ・サイクリングロードや歩行者道路の整備。
- ・電線共同溝を整備し、光ファイバーケーブル等を収容し、無電線化による災害時のライフラインの確保。